

Area Guide map

日本橋

NIHONBASHI

室町

茅場町

本石町

兜町

京橋

日本橋

八重洲

本町



日本の道路網の起点となる日本橋 江戸の名残をとどめ、 交通の要所として金融街や 老舗百貨店などが連なるエリア

“江戸は日本橋”と慶長8年(1603)に五街道の起点とされ、諸国から多くの職人や商人が集まり、日本橋をはさんだ道沿いには商家が建ち並び、江戸城下の中心街として栄えてきました。日本橋のたもとには、江戸庶民の台所を賄う魚河岸があり、その町筋には若旦那の社交場や花街が生まれ、江戸の経済を左右するほどの賑わいをみせていました。他にも商人の町として賑わった茅場町、幕府水軍の本拠地から金融の町となった兜町、江戸の名残を色濃く残す本石町、室町など、見どころがたくさんあります。現在でも老舗や企業、国の重要文化財に指定されている建物が並び、歴史と文化の香り漂う格調高い街並みを残しつつ、近年は東京駅の玄関口八重洲界隈などの再開発や、名橋「日本橋」上空の高架橋の撤去に向けた工事とともに水辺空間創出などが進められ、変わりゆく街並みをますます楽しめます。



はじめて物語

Googleマイマップはこちらから

B-2 MAP あまなっとうの発祥の店

現 榮太樓總本鋪 所 日本橋1-2-5

発 文久年間(1861~1863)頃

当時安価だった大角豆を糖蜜で煮詰め、新しい菓子をつくり出しが三世細田安兵衛。名前の由来は、当時浜名湖の名物だった“浜名納豆”になぞらえて「甘名納糖」に。世間ではそれがいつの間にか呼びやすい“あまなっとう”になったといわれています。



B-1 MAP 日本で最初の果物専門店

現 千疋屋總本舗 所 日本橋室町2-1-2 日本橋三井タワー内
発 明治10年(1877)頃

三代目となる大島代次郎が、国産果物の品質の改良、外国産の果物、種の輸入に力を注ぎ、果物専門店を創立しました。

B-3 MAP ハヤシライス発祥の店

現 丸善 所 日本橋2-3-10
発 昭和29年(1954)

丸善の創始者である早矢仕有志が友人達に振る舞った料理を人々がハヤシライスと呼んだのが最初と言われ、昭和29年(1954)に日本橋丸善がオープンした際に、メニューのひとつに加えられました。現在は、3F丸善カフェにて提供されています。

B-2 MAP お子様ランチ発祥の店

現 日本橋三越本店 所 日本橋室町1-4-1
発 昭和5年(1930)

「御子様洋食」を考案したのは日本橋三越本店の食堂部主任であつた安藤太郎といわれています。



C-2 MAP 日本初の銀行 第一国立銀行発祥の地

現 みずほ銀行・記念碑 所 日本橋兜町4-3

発 明治6年(1873)

明治6年、国立銀行条例に基づく日本初の国立銀行が創設された地です。初代頭取は渋沢栄一でした。

C-2 MAP 東京株式取引所 (現東京証券取引所)

現 東京証券取引所 所 日本橋兜町2-1

発 明治11年(1878)

日本初の公的な証券取引機関として、売買立ち会いを開始しました。後に日本証券取引所となり、同取引所の本所となりました。昭和22年(1947)日本証券取引所が解散、昭和24年(1949)5月東京証券取引所として取引を開始しましたが、コンピュータ化の進展から平成12年(2000)5月旧立会場跡地を「東証Arrows」としてリオーブンしました。



B-3 MAP 百貨店ではじめての 屋上パーキング

現 日本橋高島屋 所 日本橋2-4-1

発 昭和38年(1963)

百貨店ではじめて屋上パーキングを設置しました。※平成28年(2016)2月をもって、閉鎖されました。

B-2 MAP 五街道の起点

(東海道、中山道、甲州街道、奥州街道、日光街道)

現 日本国道路元標 所 日本橋

発 廉長8年(1603)

五街道の起点として知られる日本橋は家康の命により江戸城下で初めて架けられたとされる木橋で里程の原点と定められました。明治5年(1872)、改めて全国の道路の起点と定められました。現在のルネサンス様式二連アーチ、花崗岩造りの日本橋は明治44年(1911)に建造されたものです。



掲載のほかにもGoogleマイマップなら、区内のさまざまな「はじめて物語」をご覧いただけます。

萌黄蚊帳の発祥の店

日本最初の国産マッチ独占販売店
はじめて商品券を広く流通させたと言われている店

人力車発祥の地

ソニーグループ発祥の地

株式会社組織第一号

リーガルシユーズ一号店

初の常設エスカレーター・自動扉エレベーター

初の企業PR誌発行

煎茶がヒットした店

玉露考案の店

味附海苔発祥の店

天ざる・天もり発祥の店

折詰料理専門店発祥の店

江戸歌舞伎発祥の地

日本橋魚河岸市場発祥の地

郵便発祥の地

電燈供給発祥の地

日本で最初のファッショショウ

第一番官立小学校

……など

NIHONBASHI Events Guide

日本橋イベントガイド

1月3日

箱根駅伝(復路)

4月上旬日曜日

春の名橋
「日本橋」まつり



5月上旬～中旬

神田祭

(西暦の奇数年が本祭)



6月上旬～中旬

山王祭

(西暦の偶数年が本祭)



7月最終日曜日

名橋「日本橋」橋洗い

10月上旬～(約1ヶ月)

中央区観光商業まつり

10月下旬

日本橋・京橋まつり



イベントガイド掲載内容については、日程・内容が変更となる場合があります。最新情報は主催元のホームページ等をご確認ください。



楊枝資料館

管理者：株式会社日本橋さるや

「クロモジ」に宿る職人技と江戸の粋

住所：中央区日本橋室町1-12-5



Daiichi Sankyo くすりミュージアム

管理者：第一三共株式会社

くすりともっと仲良しに

住所：中央区日本橋本町3-5-1



小津史料館

管理者：株式会社小津商店

江戸の文化と生活を支えた紙と紙商の歴史

住所：中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル



伊場仙浮世絵ミュージアム

管理者：株式会社伊場仙

江戸団扇から現代アートまで幅広い展示

住所：中央区日本橋小舟町4-1



三菱倉庫・江戸橋歴史展示ギャラリー

管理者：三菱倉庫株式会社

秀麗な倉庫と水運のまちの変貌を記録

住所：中央区日本橋1-19-1

【お問い合わせ】

中央区まちかど展示館運営協議会

(中央区区民部文化・生涯学習課内)

TEL:03-3546-5346



Highlights of NIHONBASHI

日本橋の見どころ

●三井本館(国指定重要文化財) mapB-2

平成10年(1998)国的重要文化財に指定され、コリント式列柱や内部1階のドリス式円柱群と吹き抜けの大空間など、建築作品として見応え充分で、昭和初期を代表する建造物です。



●金座跡・日本銀行本店本館 mapB-2 (国指定重要文化財)

日本銀行本店本館は、明治29年(1896)竣工のネオ・バロック様式の石造建造物です。建築家の辰野金吾は欧米の銀行建築を視察し、最終的にベルギーの中央銀行をモデルに設計したといわれています。

構造は、石積みレンガ造による地上3階・地下1階建てで周囲を建物で囲んだ堅固なデザインに特徴があります。なお、日本銀行本店本館は江戸時代の金座の跡地に建てられています。



きだいしょうらん ●熙代勝覧

mapB-2

東京メトロ三越前駅の地下コンコース壁面には、「熙代勝覧」の複製絵巻が約17メートルにわたり設置されています。「熙代勝覧」は、文化2年(1805)頃の日本橋から今川橋までの大通り(現在の中央通り)を東側から俯瞰し、江戸時代の町人文化を克明に描いた絵巻物です。



公式サイト

一石橋迷子しらせ石標 (都指定文化財) mapA-2

安政4年(1857)日本橋西河岸町の町人たちが資金を出し合って建立した石柱で、正面に「まよひ子のしるべ」左側の「たづねる方」には迷子の特徴を記した紙を、右側の「しらする方」には迷子の所在に関する情報を記した紙を貼って使用しました。



日本橋魚市場発祥之地 [乙姫の広場] mapB-2

関東大震災で焼失するまでこの地に魚河岸があったことを伝える石碑が立っています。隣には、海の魚がことごとく日本橋に集まつたという意味を込め、龍宮城の住人である乙姫をイメージした像が置かれています。



日本橋・日本国道路元標【元標の広場】 mapB-2

日本橋は、慶長8年(1603)に初めて架けられ、その翌年、いわゆる五街道の制が確立されてからは日本の中心、江戸繁栄の象徴となりました。明治に入ってからは、この橋の中央が国内諸街道の起点と定められ、今も橋の中央に日本国道路元標が埋め込まれています。現在の橋は、明治44年(1911)に開通したアーチ型石橋です。また、江戸時代、御禁制や公示の掲示をした高札場があった南詰西側の「花の広場」には、「日本橋由来記」の碑があります。



きだいしょうらん 熙代勝覽 (複製絵巻) mapB-2

貨幣博物館 mapB-2

日本の古代貨幣から近代の円の誕生までと、世界の国々の貨幣や珍しいお金など、「お金」のすべてを勉強できる博物館です。

金座跡 日本銀行本店本館 (国指定重要文化財) mapB-2

三井記念美術館 mapB-2
三井が江戸時代から収集した、日本および東洋の優れた国宝を含む約4,000点の美術品を収蔵する美術館。

福德神社(茅吹稻荷) mapB-1

貞觀年間(859~876年)よりこの地に鎮座し、徳川家康公も参詣している神社です。平成26年(2014)に新社殿が完成し、また隣接して「福德の森」も誕生しました。

三井本館 (国指定重要文化財) mapB-2



日本橋三越本店 mapB-2 (国指定重要文化財) mapB-2

・三越劇場

江戸時代、日本橋に呉服商の越後屋を開業したのがはじまり。明治37年(1904)「デパートメントストア宣言」を行い、日本で最初のデパート「三越呉服店」が誕生しました。昭和2年(1927)には、世界初の百貨店の中にある劇場として「三越ホール」の名称でオープンしました。



三浦按針屋敷跡 (都指定文化財) mapB-2

オランダ東印度会社東洋派遣隊の航海士であった英国人ウイリアム・アダムスは、慶長5年(1600)暴風のため豊後國(現在の大分県)に漂着しました。のちに家康の通商顧問になり、日英貿易の発展に貢献しました。アダムスは日本人女性と結婚し、將軍から三浦按針という日本名を得ました。彼の江戸屋敷の周辺は昭和初期まで安針町と呼ばれていました。



KABUTO ONE

mapC-3

1階の吹き抜けには「経済の鼓動を刻むオブジェクト「The HEART」が圧倒的なスケールで出迎えてくれます。オブジェクトの真下には、日本経済の父とも呼ばれる渋沢栄一が一時保有した「赤石」が鎮座し、新たな兜町のスポットとなっています。



ポリスミュージアム

(警察博物館)

mapA-4

警視庁の歴史と活動に関する資料を多数展示しています。

江戸歌舞伎発祥の地

mapA-4

中村座の始祖、猿若勘三郎は寛永元年(1624)に中橋南地(現在の京橋一丁目付近)で櫓をあげました。これが江戸歌舞伎の発祥となります。寛永9年(1632)には、江戸城に近いという理由で櫛宣町(後の長谷川町)へ移転し、その後、上堀町(後の葺屋町)、下堀町(後の堀町)へと転じています。



国立映画アーカイブ

mapA-4

国内、国外の映画フィルムや映画関係資料の展示、企画、上映をしています。

江戸秤座跡(区民史跡)

mapB-3

江戸の秤座は、甲斐の武田氏の治下で秤の製造を業としていた守随家の二代目彦太郎信義が、江戸に出て家康の許しを得、幕府公認の秤商になりましたことに始まります。その後、幕府は、東国33カ国を江戸の守随家に、西国33カ国を京都の神家にそれぞれ分掌させました。



兜神社

mapC-2

源義家が凱旋の時、東夷鎮護のため、兜を埋め納めたという伝説が残っています。境内には兜岩と呼ばれる巨岩があり、これが兜町という町名の由来となりました。

東京証券取引所

mapC-2

前身である東京株式取引所は、明治11年(1878)に設立。戦中・終戦後の混乱を経て、昭和24年(1949)に取引が再開され、東京証券取引所が開設されました。永く続いた場立ち取引は、平成11年(1999)に幕を閉じ、現在取引所内には、株式投資を疑似体験したり、売買監理業務を行うマーケットセンターを見学できる施設「東証Arrows」があります。

鎧の渡し跡

mapC-2

源義家が奥州攻めにあたり、にわかの暴風雨で、川を渡れず着用の鎧を投じ龍神に祈つてようやく渡ることができたと伝えられる場所です。明治5年(1872)に鎧橋が架けられるまで、鎧の渡しとして存続しました。

名水白木屋の井戸

(都指定文化財) mapB-2

日本橋交差点角にあった東急百貨店(平成6年(1994)1月閉店)は、昭和33年(1958)まで白木屋という屋号でした。白木屋は、近江商人大村彦太郎の創業。越後屋と肩を並べる呉服の大店で、二代目彦太郎が私財を投じて掘った井戸の水は、將軍家や諸大名に献上するほどの清水が湧き、広く「白木名水」と呼ばれました。

その後、白木名水は消失しましたが、東京都指定文化財(旧跡)として記念碑があります。



日本橋高島屋

mapB-3

(国指定重要文化財)

百貨店建築として初めて、平成21年(2009)国の重要文化財に指定されました。昭和8年(1933)に高橋真太郎設計で、全館冷暖房を完備した店舗が新築されました。戦後、村野藤吾による増築が重ねられ、「全体が一体不可分の建築作品」として評価されています。





Google マップ

Google マップでまち歩き
コースを持ち歩こう

フォローする

をタップして保存できます。

コース ①



コース ②



Tokyo Chuo City
Tourist Information Center
中央区観光情報センター



外国人を含む旅行者に、
東京・中央区の魅力を発信する
インフォメーションセンターです。
お気軽にお立ち寄りください。

- 住所 東京都中央区京橋2-2-1「京橋エドグラン」内地下1階
- TEL 03-6262-6481
- 開館時間 9:00~21:00
- 休館日 年中無休
- HP <https://centraltokyo-tourism.com>



中央区観光協会

〒104-0061 東京都中央区銀座 1-25-3 京橋プラザ 3 階

TEL 03-6228-7907

中央区観光協会ホームページ

www.chuo-kanko.or.jp

観光おもてなしスタッフが案内する
おすすめガイド付コース
お申込みはこちら



Japan.
Endless
Discovery.



& TOKYO

日本橋

